

2023年6月6日

各 位

会社名 日東製網株式会社
代表者名 代表取締役社長 小林 宏明
(コード番号 3524 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部本部長
北方 浩樹
(TEL084-953-1234)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年4月期において特別損失を計上するとともに、2022年6月10日に公表しました2023年4月期の通期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は福山本社におきまして、一昨年より新事業所(工場兼事務所)の建設を進めてまいりましたが、漁網の生産量を維持するため、旧工場も一部稼働させながら、機械の移設を行ってまいりました。新事業所に関連する工事は現在も進行中ですが、当期末におきまして、次期に行う旧工場の解体費用の概算見積りが出たため、当期発生費用も含めて特別損失として計上することといたしました。特別損失計上金額 396 百万円(内訳 解体撤去費用 18 百万円、減損損失 378 百万円)

2. 2023年4月期通期連結業績予想数値の修正(2022年5月1日～2023年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,000	百万円 650	百万円 550	百万円 150	円 銭 57.84
今回修正予想(B)	19,300	275	496	50	19.58
増減額(B-A)	300	△374	△53	△99	
増減率(%)	1.6	△57.6	△9.7	△66.1	
(ご参考)前期実績 (2022年4月期)	18,373	370	544	190	73.45

3. 修正の理由

売上高につきましては、定置網部門の受注が低迷しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限が緩和されたことに伴い、海外の商談が進展し、旋網部門、養殖網部門や海外への輸出等の売上高が増加し、通期では当初予想を上回る見通しとなりました。

利益面につきましては、主力の定置網部門の売上高が当初予想に届かなかったことや原材料費・物流費等の高騰などにより、営業利益は減少する見通しとなりました。営業外損益では為替差益の計上により、経常利益段階では多少持ち直しましたが、福山新事業所建設に伴い発生する旧建物の解体撤去費用等を特別損失として計上することとなり、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回る見通しとなりました。

以上